

製品名: p21 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21315**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:18kD;Observed MW:18kD

抗原情報

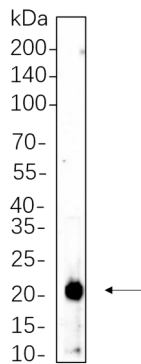
遺伝子名	CDKN1A
別名	Cyclin-dependent kinase inhibitor 1 ;CDK-interacting protein 1;Melanoma differentiation-associated protein 6;MDA-6;p21;
遺伝子 ID	12575.0
SwissProt ID	P39689
免疫原	マウス p21 の組み換えタンパク質

背景

細胞局在: 核。この遺伝子は強力なサイクリン依存性キナーゼ阻害因子をコードしています。コードされているタンパク質は、サイクリン-サイクリン依存性キナーゼ 2 またはサイクリン依存性キナーゼ 4 複合体に結合してその活性を阻害し、細胞周期 G1 期の進行を調節する役割を果たします。この遺伝子の発現は腫瘍抑制タンパク質 p53 によって厳密に制御されており、p53 を介して、様々なストレス刺激に応答して p53 依存性細胞周期 G1 期停止を誘導します。このタンパク質は、DNA ポリメラーゼ補助因子である増殖細胞核抗原と相互作用し、S 期 DNA 複製および DNA 損傷修復において調節的な役割を果たします。このタンパク質は CASP3 様カスパーゼによって特異的に切断されることが報告されており、サイクリン依存性キナーゼ 2 の劇的な活性化につながり、カスパーゼ活性化後のアポトーシス遂行に重要な役割を果たす可能性があります。このタンパク質を欠損したマウスは、

研究分野

画像データ



ラット子宮細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を p21 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。